



## 2021年度 入社式トップ訓示

### 「絶え間ない変化に挑戦」

**ENEOS 大田勝幸社長**

どんなに厳しい環境でもエネルギー供給を維持することが、いままでもこれからも当社に取組んでほしい。社会的な責任であり、会社経営にあたり、使命だと考えている。では「いまのビジネスを大切に利益を出すのが大変難しいなか、生き残り、世の中に役に立ち続けるためには社会の変化に対応し、先取りし、常に変化し続けることが最も

### 「真に働き成長する場提供」

**出光 木藤俊一社長**

1月末から放映しているテレビCMの「一人ひとりがつなげるエネルギー」にきょう、みなさんにお話ししたいことが込められている。一つ目のキーワード

「真に働き成長する場提供」

ドは「人」。当社が大切にしている企業理念は「真に働く」だ。社会環境の変化に応じ、てかたちを変えながら、当社を未来に「つなぐ」ことが必

「真に働き成長する場提供」

「真に働き成長する場提供」

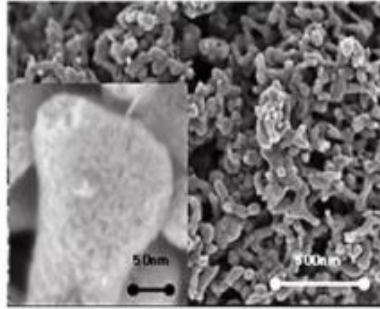
「真に働き成長する場提供」

### 「若い力で変革を期待」

**コスモエネHD 桐山浩社長**

現在の中期経営計画の「O i l & New」O i l はまだ重要なエネルギー源である石油を安定的かつ大事に使っていくこと、New は将来を見据え、新たな柱となる事業を積極的に展開していくことを意味している。また、期待している。われわれは常にビジネス

「若い力で変革を期待」



SEM写真 構造 dendrite

燃料電池 (FC) スタックに多孔質炭素材料「エスカーボンMNCND」が採用されたと発表された。カソード電極用の触媒担体に使われており、

13年にサンプル出荷を始めたエスカーボンMNCNDの量産採用は今回が初めて。エスカーボンMNCNDは dendrite (樹状体) 構造で、グラフェン (シート状炭素分子) で仕切られた細孔を多数持っている。炭素と金属原子が結合した金属アセチリドという化合物を前駆体に

日鉄ケミカル & マテリアル

多孔質炭素材料「エスカーボンMNCND」

## 初の量産採用

### ミライのFCスタックに

日鉄ケミカル&マテリアルは2日、トヨタ自動車が発売した新型の燃料電池車 (FCV)「MIRAI (ミライ)」の燃料電池 (FC) スタックに多孔質炭素材料「エスカーボンMNCND」が採用されたと発表された。カソード電極用の触媒担体に使われており、

つぐられ、「メソポーラスカーボン」ナノ dendrite (MNCND)とも呼ばれる。その特徴的な形状によって触媒に使う白金を効率的に担持し、白金の使用量削減やFCスタックの小型化・高性能化に貢献できる。こうした点が評価され、トヨタから「プロジェクト表彰 (技術の部)」も受賞した。

第2世代のミライは航続距離が850キロと第1世代に比べ30%伸び、最大出力も128キロワット増と性能が大きく向上した。搭載するFCスタックは電極単位面積当たりの出力が15%向上し、白金の使用量も58%低減するなど高性能化・低コスト化を実現した。

日鉄ケミカル&マテリアルは自然科学研究所の西信之名誉教授と共同でエスカーボンMNCNDを開発し、13年にサンプル出荷を始めた。その後、量産技術を確立し、九州製造所 (北九州市) などでも量産体制を整備。20年1月に「MNCND事業部」を立ち上げた。

世界的な脱炭素や水素社会の流れを受けて、水素を使って発電するFCは市場の拡大が見込まれる。日鉄ケミカル&マテリアルは多様な用途展開を視野に入れて技術開発を進める方針で、将来の市場拡大に備える。



リサイクル広域化のイメージ

## リサイクル推進のモデルに 3つの再資源化事業を实践 福岡県 大木町

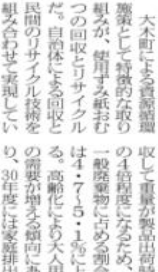
ムムの高度化がようやく始まる一方で、複数の再資源化事業を同時並行で実践する自治体がある。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体がリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。

### 廃プラ 広域から受け入れ油化



大木町内に立地する廃プラ油化設備

### 紙おむつ SAP など再利用探る



大木町による資源循環 紙おむつ回収ボックス



大木町による資源循環 生ごみ回収ボックス

大木町は先んじて、大木の各庄天草田のミカルリサイクル回収する月1回程度にまわらなから受け入れ、一部から受け入れ、たれで普法プラを製造。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体がリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。

大木町は先んじて、大木の各庄天草田のミカルリサイクル回収する月1回程度にまわらなから受け入れ、一部から受け入れ、たれで普法プラを製造。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体がリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。

大木町は先んじて、大木の各庄天草田のミカルリサイクル回収する月1回程度にまわらなから受け入れ、一部から受け入れ、たれで普法プラを製造。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体がリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。

### 生ごみメタン発酵しガス・液肥



大木町による資源循環 生ごみメタン発酵設備

大木町は先んじて、大木の各庄天草田のミカルリサイクル回収する月1回程度にまわらなから受け入れ、一部から受け入れ、たれで普法プラを製造。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体がリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。

### 今後カーボンニュートラルも



町長 高橋 公雄  
環境 町長

事業でも取り組んで、住みやすい環境にしたい。大木町は先んじて、大木の各庄天草田のミカルリサイクル回収する月1回程度にまわらなから受け入れ、一部から受け入れ、たれで普法プラを製造。福岡県大木町が手掛けるのはプラごみ、生ごみ、使用済み紙おむつのリサイクル。持続可能な規模を模索し、すでに近隣自治体を巻き込んだ取り組みに発展しており、地方自治体がリサイクルを推進するうえでモデルケースとして期待される。

取材：松井達也

# ウメモト インフォメーション

2021年 4 月 2 日 担当 小松

## ▶外環道・関越～東名間／事業期間10年延長／工事再開見通せず [2021年4月2日3面]

赤羽一嘉国土交通相は3月31日、東日本、中日本両高速道路会社と国交省が進めている東京外かく環状道路（外環道）関越～東名間約16キロの整備について、事業期間を同日までから2031年3月31日に延長することを認可した。都市計画法上の措置。14年3月28日からの事業として定められ、一時は東京五輪・パラリンピックを前提に20年が開通時期の目標とされた。20年10月に大深度区間で進めるシールド掘削工事の地表で陥没が発生し、工事が中断している。

開通時期は「未定」とされてきた。陥没を巡っては周辺で空洞も見つかри、現在は陥没が発生した東日本高速会社の南行きトンネルだけでなく、中日本高速会社の北行きトンネルと関東地方整備局担当工区の計7基のシールド工事が休止している。有識者委員会が原因の究明と再発防止策の検討に取り組み、3月19日に報告書をまとめた。東日本高速会社など3者は、再発防止策を踏まえ、各者の対応を明確化する考え。併せて被害のあった家屋や地盤の補修を行っていく。関東整備局によると、「工事の再開時期は見通せる状況にはない」という。



## 製品値上げ

### POを28円以上

トクヤマ

トクヤマはプロピレンオキサイド(PO)の価格を改定する。21日出荷分から1キログラムあたり28円以上値上げする。海外市場が高騰しており、需給バランスがタイト化している。製造・物流・設備維持コストの増加も見込まれ、自助努力による吸収が困難として、ナフサ価格変動分以外について、採算是正を目的に値上げを決めた。

て、採算是正を目的に値上げを決めた。

### IPA 28円以上

トクヤマはインプロピルアルコール(IPA)の価格を改定する。21日出荷分から1キログラムあたり28円以上値上げする。主原料となるナフサ価格が高騰。製造設備の維持・更新費用や物流コストも増加している。自助努力での吸収が困難とし、採算是正を目的に値上げを決めた。

### 各種可塑性剤など

ADEKA

ADEKAは21日出荷分から可塑性剤と塩ビ用安定剤を値上げする。改定幅は可塑性剤のポリエスチル系が1キログラムあたり55円、ゴム用が35〜68円、トリメリット酸系が40円、安息香酸系が32〜42

円、その他が25〜41円。塩ビ用安定剤は現行価格比10%以上。

### 酢ビモノマー30円

日本酢ビ・ポバール

日本酢ビ・ポバールは酢酸ビニルモノマーの価格を改定する。15日出荷分から1キログラムあたり30円値上げする。酢酸、ナフサ、エチレンといった原料が高騰するほか、酢ビやポバールは需給がタイト化している。採算改善、安定供給の維持を目的に値上げを決めた。

### OPSなど28円超

デンカ

デンカは5月1日納入分から2軸延伸ポリスチレンシート(OPS)デンカサーモシートBOPS「および食品包材用スチレン系シートを値上げする。改定幅は1キログラムあたり28円以上。各種合理化に取り組んできたが、原料や副資材などのコストが上昇するなか、現行価格では安定供給と事業の継続が困難と判断した。